

# 長岡方式の地域自治

## 合併の懸念事項

合併することによる不安や懸念としては、次のようなことがあげられます。

- ① 合併すると地域の伝統や文化が失われるのではないかな？
- ② 合併後は中心部だけが良くなって、周辺部が取り残されてしまうのではないかな？
- ③ 市役所や役場が遠くなり、今よりも不便になるのではないかな？
- ④ 住民の声が行政に届きにくくなるのではないかな？

## 「長岡方式の地域自治」により解消します。

合併後も、地域住民の声を十分行政に反映するために、長岡市以外の旧市町村単位に支所を設置します。

支所では、通常の住民サービスのほかに、地域固有の業務や支所で行った方が効果的な業務などを行ないます。

当該地域の施策やまちづくりについて、地域住民の立場から検討し、行政に反映させるために、地域委員会を設置します。

### 地域委員会は市長の附属機関です

市長は、地域委員会の提案、意見を尊重し、地域の行政運営を行ないます。

地域委員会は地域にとって重要な組織です。

### 支所が地域委員会の事務を担います

支所は、通常業務、地域固有の業務などを行なうほか、地域委員会の事務も担います。地域委員会と連携をとって、地域振興に努めます。

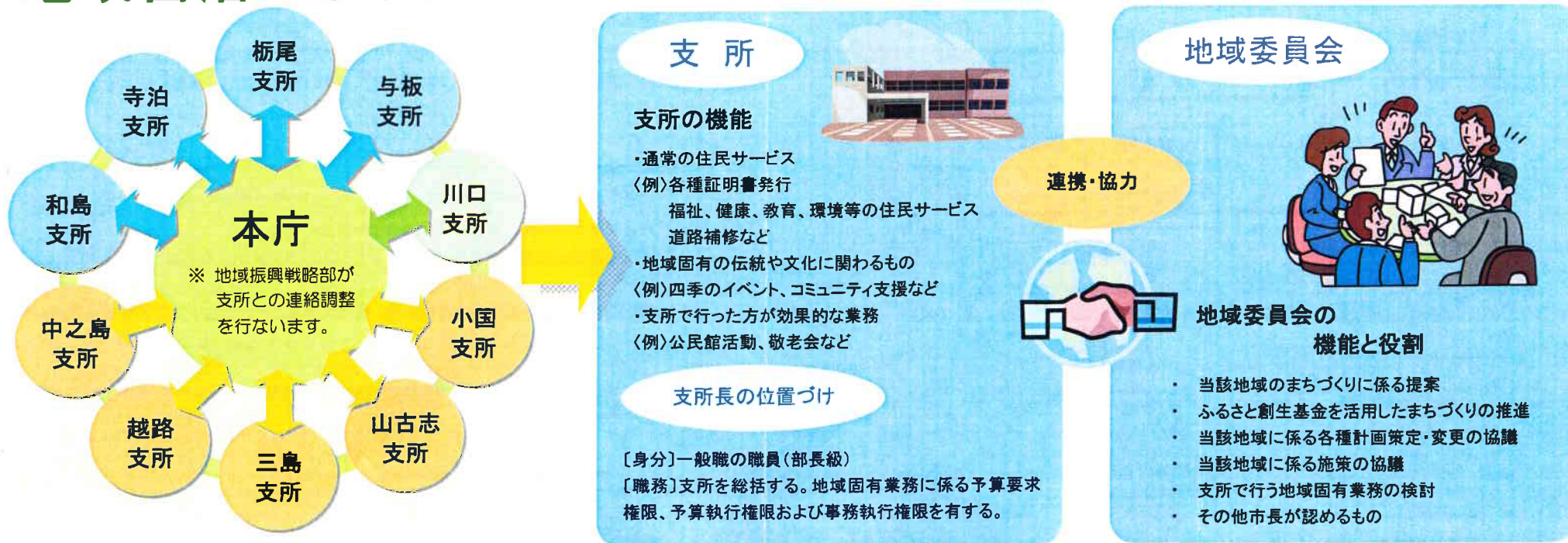
### ふるさと創生基金の活用

地域委員会において、基金を活用したまちづくりを推進します。

### 地域コミュニティ事業補助金の活用

さまざまなコミュニティ関係団体が、地域や産業の活性化、地域環境の整備のために、自ら考え、自ら具体化していく事業に対して補助します。

## 地域自治のしくみ ……旧市町村単位に支所と地域委員会を設置します。



## 「川口地域の今後の課題」 地域委員からの意見

(平成 25 年 1 月 22 日開催「第 3 回川口地域委員会」において)

- ・ 閉校した学校の跡地保存
- ・ JR との共生施設の整備推進
- ・ 旧泉水小学校の具体的な活用方法
- ・ 保育園の建替え
- ・ 高齢者の一人暮らしなどの生活対策
- ・ 川口地域の災害時広報対策
- ・ NPO 法人くらしサポート越後川口が地域住民と連携・協働して、一人暮らしの高齢者の居場所づくりや見守り、雪の問題などを解決する方策
- ・ 廃校になった学校の備品を川口公民館などで有効活用できないか
- ・ 地域の活動を充実させるような仕組みづくり
- ・ 除雪ボランティアの継続
- ・ 若い人が定住する施策